



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場体験・インターンシップの活動についてもご紹介してまいります。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしくお願いいたします。

第27号は、青少年奉仕からは「ローターアクトクラブ提唱するとどうなる?」、

P.6～ インターアクトから「インターアクト合同活動」、

P.7～ ローターアクトから「沖縄研修合宿」、「各クラブの活動報告」、

P.12～ 青少年交換から「帰国報告会」の掲載がございます。

また、P.5に「青少年奉仕の基礎知識/ローテックスの活動」の連載もございます。

1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご報告）

① 特集「ローターアクトクラブ提唱するとどうなる? ～嘉悦大学ローターアクトクラブ、東京ワセダローターアクトクラブ、東京浅草中央ローターアクトクラブの提唱ロータリークラブへのヒアリングから～」

(1) 国際ロータリー第2580地区ローターアクターの現状

2011-2012年度、当地区に地区新世代奉仕委員会が発足しました。その当時の当地区のローターアクトクラブは7クラブ、ローターアクターは50人ほどでした。それ以降、ローターアクトクラブ、ローターアクター共に年々増加し、現在は15クラブ、180-200人ほどとなっています。「荒川クリーンエイド」や「気仙沼仕事創出プロジェクト」などローターアクトクラブの活動も活発も行われています。当地区のローターアクトは全国で最も勢いがあるとされています。



とはいえ、当地区のすべてのローターアクトクラブに勢いがあるというわけではありません。中には運営に悩むローターアクトクラブもあります。今回は勢いがあるとされる3クラブ、嘉悦大学ローターアクトクラブ、東京ワセダローターアクトクラブ、東京浅草中央ローターアクトクラブをご紹介します（もちろん、この他にも勢いのあるローターアクトクラブはあります）。ローターアクトクラブの提唱や提唱後の運営のヒント、そして、ローターアクトク

ラブ提唱がロータリークラブ、ロータリアンの活性化の可能性のあることを知っていただければと存じます。

(2) 嘉悦大学ローターアクトクラブ、東京ワセダローターアクトクラブ、東京浅草中央ローターアクトクラブの共通点と各クラブの特徴

I 各ローターアクトクラブの概要

- ・嘉悦大学ローターアクトクラブ 提唱ロータリークラブは東京小平ロータリークラブ。2013年設立、大学を基盤とする形態。立ち上げ時の会員数8人、現在の会員数18人
- ・東京ワセダローターアクトクラブ 提唱ロータリークラブは東京ワセダロータリークラブ。2014年設立、地域を基盤とする形態。立ち上げ時の会員数13人、現在の会員数20人
- ・東京浅草中央ローターアクトクラブ 提唱ロータリークラブは東京浅草中央ロータリークラブ。2015年設立、地域を基盤とする形態。立ち上げ時の会員数7人、現在の会員数13人

II 各ロータリークラブによるローターアクトクラブ立上げの経緯

東京小平ロータリークラブは、当時の会員であった嘉悦大学の教員より、小平市内の6大学連携の「小平ブルーベリーリーグ」構想への連携を呼びかけられことがきっかけです。ここでロータリアンと地域の大学生との出会いがありました。東京ワセダロータリークラブは、ある青少年交換派遣学生のスポンサーをしており、この学生がローテックス（青少年交換派遣学生のOBOGにて派遣予定学生、来日学生のサポートを行う大学生）となった後も、カウンセラーとのつながりがあったことがきっかけです。「彼を最初からローターアクトクラブ初代会長にすることを決めていました。だから、立ち上げました」とのことです。東京浅草中央ローターアクトクラブは、震災後、会員がローターアクター有志の「気仙沼仕事創出プロジェクト」に触れ、参加したことがきっかけです。「素晴らしい活動をしている20代がいることに気付くことができました」とのことです。いずれも、地域の大学生、青少年交換派遣学生、ローターアクターなど若者との出会いがきっかけになっています。また、ローターアクトの存在または意義を知らなかったところからスタートしています。

東京ワセダローターアクトクラブは立上げ準備にあたり、初代会長候補者を東京荒川ローターアクトクラブに入会させて、ローターアクトクラブの運営を実地に学ぶ機会としました。また、東京浅草中央ローターアクトクラブは初代会長候補者を東京池袋ローターアクトクラブから招聘しました。また、設立会員が積極的に他のローターアクトクラブに出席することにより、ローターアクトクラブの運営を学び、モチベーションとしました。立上げ準備段階でのローターアクター間のつながりが運営に困ったときの相談・アドバイスを容易にします。

III メンバー構成

嘉悦大学ローターアクトクラブは同大学の学生で構成されています。一般のローターアクターは30歳で卒業ですが、嘉悦大学ローターアクトクラブの場合は、大学卒業とともにローターアクターも卒業します。最近、別のローターアクトクラブの会員になった方がいます。東京ワセダローターアクトクラブはローテックス卒業生が主体になっています。ローテックス卒業生が友人・知人の社会人に声をかけて会員を増やしています。東京浅草中央ローターアクトクラブは立上げ当初は社会人を中心に構成されていました。その後、友人・知人に声をかけて大学生の会員もいるようになりました。大学生から30歳近くまで幅広い年齢構成です。

また、米山奨学生など外国人の会員も複数おり、国際色豊かになっています。いずれのローターアクトクラブも会員の地域性はあまり高くありません。

IV 活動

嘉悦大学ローターアクトクラブは小平市内の 6 大学連携の「小平ブルーベリーリーグ」との連携を継続しています。「小平グリーンロード灯りまつり」に出店し、フランクフルトの販売などを行っています。東京ワセダローターアクトクラブは「ハロウィン例会」を開催し、ローテックスや青少年交換の来日学生との交流などを行っています。東京浅草中央ローターアクトクラブは「浅草の奉仕活動について考える例会」を開催し、地元の NPO の活動を紹介し、地域における奉仕活動への理解を深めました。この例会には、海外のローターアクターも出席しました。「ロータリークラブに頼らず、自分たちでやっ払いこう」という気概を持っています。いずれも、ローターアクターが自ら企画し自ら実現することを、ロータリアンがサポートというスタンスになっています。活動についてはローターアクターの自主性に任せ、ロータリアンはリスクやお金などの責任を負っています。



V ロータリアンとの関わり

嘉悦大学ローターアクトクラブは、前年度開催された東京小平ロータリークラブの「青少年奉仕を考えるファイヤーサイドミーティング」に出席しました。ロータリアンと語り合いました。東京ワセダローターアクトクラブは東京ワセダロータリークラブの社会奉仕事業「児童養護施設への支援」に同行しました。ロータリアンからは「ローターアクターと一緒に奉仕ができる」との評価を得ています。また、ローターアクターにも何ができるかを考える機会になっています。東京浅草中央ローターアクトクラブは東京浅草中央ロータリークラブの社会奉仕事業「浅草神社で開催される女子高生フラガールによる「フラダンスフェス in 浅草」のお手伝いをしました。ローターアクターが喜んで奉仕活動をしてきています。ロータリークラブの奉仕活動の活性化にもつながっています。上記以外にも、ロータリークラブの例会や家族会、花見例会などにローターアクターを招いて、ロータリアンとの交流の機会を設けています。また、ローターアクトクラブの例会にロータリアンが出席をしています。東京ワセダローターアクトクラブ、東京浅草中央ローターアクトクラブでは、毎回、3-4 人のロータリアンが出席しています。「最初は出席を面倒に思っ払いいても、自然とロータリアンとローターアクターの目が向き合うようになる」とのことです。

また、東京ワセダローターアクトクラブ、東京浅草中央ローターアクトクラブともに、ローターアクト担当のロータリアンにより、例会や週報にて、ローターアクトクラブの活動報告や例会案内などの情報提供を継続しています。ローターアクトクラブ例会への出席を促すことはもちろんですが、それ以上に、ロータリアンにローターアクトへの理解をつなげる意味があります。「ロータリアンがローターアクターに興味をなくすことが怖い」というコメントがありました。

VI 会計

東京ワセダロータリークラブは、毎年、ロータリアン1人当たり6,000円を集金し、これを東京ワセダローターアクトクラブに支出しています。集金した金額の一部（10万円台前半です。想定よりも支出が少なかったため、立上げ当初より減額しています）です。残りは、ローターアクターのロータリークラブ家族会出席の際の補てんし、また、ローターアクトクラブ基金に積み立てています。東京ワセダローターアクトクラブは年会費として社会人12,000円、大学生6,000円を徴収しています。このほか、ロータリアン出席者の登録料やニコニコにて運営支出を賄っています。東京浅草中央ロータリークラブは、本会計より東京浅草中央ロータリークラブに支出しています（10万円台半ばです。想定よりも支出が少なかったため、立上げ当初より減額しています）。東京浅草中央ローターアクトクラブは年会費として社会人12,000円、大学生6,000円を徴収しています。ロータリアンからのニコニコはローターアクトクラブの特別会計として、周年記念事業のための積み立てとしています。いずれのローターアクトクラブも多めの支出となるのは、他地区のローターアクター年次大会への登録料等の補助とのことです。

東京ワセダローターアクトクラブ、東京浅草中央ローターアクトクラブともに、定期的に、提唱ロータリークラブの例会または理事会にて会計の報告を行っており、ロータリアンによるチェックがなされています。ローターアクトクラブ立上げ時に、ロータリークラブ内にて「ローターアクトクラブ運営は多額のお金がかかるのではないか？」という疑問に対応するためでもあります（過去には多額の運営費がかかっていたこともありました）。現在のローターアクトクラブでは多額の運営費がかからない点をしっかり説明し、立上げ後においてももしっかりとしたチェック体制が組み立てられていることがわかります。

VII 課題と対応

嘉悦大学ローターアクトクラブもローターアクター（大学生）の自主性を尊重しつついかに指導するかを重視しています。しかし、東京小平ロータリークラブでは立上げにかかわったロータリアンが諸事情により退会されてしまいました。今後のロータリークラブ側の運営体制の見直しが必要になっているようです。東京ワセダロータリークラブ、東京浅草中央ロータリークラブはともに、ローターアクターの自主性に任せつつ、4-5人のロータリアンがローターアクターの運営にかかわる体制、ローテーションをとっています。それだけでなく、いろいろなロータリアンが経験できるように、ロータリークラブの中で次にローターアクト担当ができるロータリアンの発掘、育成も行っています。また、ローターアクターは世代交代があります（30歳にて卒業。嘉悦大学ローターアクトクラブは大学卒業とともに）。こちらへの対応も重要なポイントになります。

(3) まとめ

各ヒアリングご協力者から読者のみなさまにコメントです。

東京小平ロータリークラブご協力者「大学生の今しか出来ないことを満喫することでロータリーとの絆を将来にわたって忘れない大切な経験をさせることができます。このことが後輩に受け継がれ、組織として継続していくのだと感じています」

東京ワセダロータリークラブご協力者「当ロータリークラブ会員から「若い人は良いな」とい

う感想をいただいて、ローターアクトクラブを立ち上げて良かったと感じています」「ローターアクターがロータリアンを引っ張ってくれており、ロータリアンのアンチエイジングにもなっています」「少子高齢社会の日本のためにも青少年の育成は重要です」

東京浅草中央ロータリークラブご協力者「ローターアクトクラブがあることでロータリアンが元気になります」「職業倫理的にもお手本となることが求められますので、ロータリアンの背筋が伸びます」「20代との接し方を学ぶことができ、ロータリアンの会社の若手社員との接し方が変わります」

ポイントを次にまとめます。①ローターアクトクラブの立上げ準備段階にて、ロータリークラブへの十分な説明とともに（ロータリークラブにとっての意義や運営に多額の支出はかからないことなど）、ローターアクター設立メンバーを他のローターアクトクラブに研修させて、ローターアクターを実地に学んでもらうこと。□ローターアクトクラブ運営はローターアクターの自主性に任せつつ、そのサポートにおいては、ロータリークラブ側にて継続的に行える体制を組んでおくこと。また、ロータリアンとローターアクターとの交流の機会、ローターアクトクラブの活動についてロータリアンへの広報を継続して行うこと。□ローターアクターによりロータリアンが元気になること。これはロータリークラブの活性化にもつながること。

提唱ロータリークラブのみなさまにはローターアクトクラブの運営のヒントにさせていただければと存じます。また、未提唱ロータリークラブのみなさまには、地区青少年包括成果発表会（4月8日）や地区ローターアクター年次大会（6月2日）などでまずはローターアクターと会って、お話ししていただければと存じます。

連載！ 青少年奉仕の基礎知識／第8回「ローテックスの活動」

12月24日、青少年交換プログラムの派遣国決定通知が行われました（詳細は本誌の地区青少年交換委員会の活動報告にて）。第54期派遣予定学生に対し、吉田雅俊ガバナーから派遣国決定通知書が手渡されました。第54期生が本年夏から約一年の交換留学から帰ってくると、ローテックスとして後輩の派遣予定学生や来日学生のお世話をします。今回はローテックスの具体的活動についてご紹介します。青少年交換プログラムの推進には、ローテックスのみんなの協力も大きくはたらいっていることがお分かりいただけると思います。

【派遣予定/来日学生へのサポート】

①イベントの企画/実行（フィールドトリップ、ジャパントゥアー、サマーキャンプ）、②茶道稽古の補助（準備、英語通訳、お手本）、③記録（写真、動画撮影）

【派遣予定学生へのサポート】

④体験談の紹介（留学先での経験、アドバイス）

【来日学生へのサポート】

⑤担当来日学生のケア（現地語での通訳、悩み相談）

【派遣中の学生へのサポート】

⑥留学中のケア（応援メッセージカード、悩み相談）

【将来のローテックスへのサポート】

⑦記録（議事録、映像記録）

2. インターアクトの活動（ご報告とご案内）（鈴木地区インターアクト委員長より）

① インターアクト地区合同活動について

2017年12月17日（日曜日）、潤徳女子高等学校においてインターアクト地区合同活動が実施されました。ホスト校は潤徳女子高等学校インターアクトクラブ（提唱クラブは東京江北ロータリークラブ）でした。今回の合同活動は日本国際ボランティアセンター（以下、「JVC」。詳細を下記）による講演を聴き、ワークショップを体験することで、NGOや世界の貧困・紛争・災害等の現状の理解を深めると共に、在京6校の



インターアクトクラブの交流を図ることが目的です。初めに、JVC アフガニスタン事業担当の竹村氏より NGO とは何か、日本では理解しがたい海外の貧困、アフガニスタンの文化等の世界の現状についてお話しを頂戴しました。竹村氏はアフガニスタンの民族衣装に身を包み登場され、インターアクター達は興味深く講演に耳を傾けていました。続いて、JVC による1つ目のワークショップですが、言葉を使わずにジェスチャーでトランプゲームのルールを仲間に説明してゲームを進めることで、言葉が通じない中で自分の意志を相手に伝えることの難しさを体験しました。2つ目のワークショップは与えられた10万円をそれぞれ条件の違う4つの貧困家庭にどのように分配するかをグループで討議し、シミュレーションしました。インターアクターは収入・家族構成が違う4つの家族に平等に分配することの難しさを体験しました。インターアクターは均等にグループに分かれたことで、他校のインターアクターと交流を深めることができました。

※日本国際ボランティアセンターとは？

アジア・アフリカ・中東、そして東日本大震災の被災地で支援活動を行っている国際協力NGOです。インドシナ難民の支援を機に1980年に設立。農業の研修などを通して農村の暮らしを支える「地域開発」、紛争地での医療支援などを通して人々の命を守る「人道支援」、現場の声をもとに政府や国際社会に働きかける「政策提言」が活動の柱となっております。

② インターアクト地区合同活動・ロータリーファミリー交流会・地区合同表彰式

2018年2月18日（日曜日）、9:00～15:30、日本大学第一高等学校にて、①インターアクト地区合同活動、②ロータリーファミリー交流会、③インターアクト地区合同表彰式が開催されます。①インターアクト地区合同活動（ホスト校：北豊島中学高等学校インターアクトクラブ）は、ロータリー有志協働の「気仙沼仕事創出プロジェクト」による「気仙沼フードマイスター講座」です。高校生が実践的にマーケティングを学びます。②ロータリーファミリー交流会は上記講座をもとにワークショップをインターアクター、ロータリーファミリー、ローテックスが一緒に行います。また、三者がそれぞれの活動を発表します。③インターアクト地区合同表彰式は、この3月で卒業するインターアクターを表彰するものです。

各クラブにご案内を差し上げますので、ぜひご参加申込みをよろしくお願ひします。

3. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 地区ローターアクト／会長幹事会

12月17日（日）、池袋にて第二回会長幹事会兼地区協議会を開催しました。当日は第2580地区内の各ローターアクトクラブ会長、幹事を中心に、関係者約30名にお集まり頂きました。当日は2部構成で、先ずローターアクトクラブの上半期の活動を発表する「クラブPR」を行い、その後に、「良い例会とは何か」をテーマにグループワークを行ないました。クラブPRでは各クラブ、自信のある例会内容を独自の方法で発表しました。今後のクラブ運営において非常に参考となる内容でした。またクラブPRでは投票を行ない、見事、東京ローターアクトクラブが最多得票に輝きました。「良い例会とは何か」を考えるグループワークでも、今後のクラブ運営に行なっていきたいアイデアをたくさん発案しました。ローターアクトクラブらしい、非常にエネルギッシュな会となりました。ご興味をお持ちでしたら、是非一度お越しください。次回は3月18日を予定しております。

② 地区ローターアクト／沖縄研修合宿

12月9～10日、「地区交流合宿 in OKINAWA」を開催しました。今回は、那覇西ローターアクトクラブの主導の下、「平和学習」をコンセプトに企画しました。12月という大変忙しい時期での開催であったにも関わらず、総勢30名近くの方のご登録がありました。プログラムとして1日目は、ひめゆり平和記念資料館へ行き、戦争の悲惨さや命の尊さを学びました。何の罪もない子ども達や一般市民の命を奪う「戦争」は二度と起きてはいけないことだと参加者一同、心に刻みました。夜は懇親会を行い、普段交流する機会が少ない沖縄のローターアクター並びにOBや、ロータリアンの皆様と親睦を深め、ある人はすぐに寝て、ある人は夜が明けるまで語り合いました。2日目は、1日目の「ひめゆり平和記念資料館」での学習を素にしたクイズと、グループ毎に「平和」というテーマについて、ワールドカフェ形式でディスカッションを行いました。どのグループも活発に意見が出て、平和ボケしてしまっている現代において、改めて平和について考えさせられる機会となりました。最後に、当地区のガバナーノミニでいらっしやいます、那覇ロータリークラブの新本博司様より総評をいただいた際、「ロータリークラブ、ローターアクトクラブに所属している私たちだからこそ、本当の平和というものを追求することが大切」というお言葉がありました。自分達がローターアクトクラブに所属していることを自覚し、今後も東京と沖縄で協力して活動をしていくことを誓い、閉会しました。平和の大事さを学びつつ、東京と沖縄での交流を深められた実りのある会になりました。



③ 東京荒川ローターアクトクラブ

11月第2例会「卓話例会～賃貸 vs 持ち家～どちらが得なのか」

日時：11月26日（日）、15時半～17時

場所：株式会社リバイブル

卓話例会を行いました。青少年奉仕委員長の尾形様のご紹介で、尾形様の会社の社員の柳原様をご紹介いただきました。尾形様の会社が不動産関係の事業ということで、「賃貸と不動産購入どちらが将来的に得なのか」というテーマでお話していただきました。非常に興味深い内容でした。当日は他のローターアクトクラブ、ビジターの方も含め、多くの方にご参加いただきました。



④ 那覇西ローターアクトクラブ

12月第2例会「クリスマスリースを作ろう」

日時：12月17日（日）

クリスマス直前ということでユーカリを使用したリース作りを行いました。なぜクリスマスにリースを飾るのかその由来も学びながら作成をすることでより一層学びが深まりました。また、作成したリースには会員一人一人の個性が出ており、完成したリースを見るのがとても面白かったです。今後、その他の行事も同じようになぜ始まったのか、その意味は何なのか深く掘り下げて学ぶことで会員の興味関心の増加、探求心を養っていきたいと思います。



おすすめ例会：

開催日：1月28日（予定）

「かりゆしウエアを作成しよう」

⑤ 東京池袋ローターアクトクラブ

11月第2例会「投資的思考を知ろう例会」 開催日：11月19日（日）

12月第1例会「雑司が谷を歩こう！例会」 開催日：12月2日（土）

12月第2例会「クリスマス例会」 開催日：12月23日（土）

1月第1例会「初詣例会」 開催日：1月6日（土）

11月第2例会「投資的思考を知ろう例会」

開催日：11月19日（日）

今年度の新入委員である、専門知識開発委員長の梶本大子郎による「投資的視点を知ろう例会」を開催しました。内容は大学のゼミで学んでいる企業分析を題材に、投資において利益を得るものは誰か、投資先として良いのはどのような企業かを紹介するものでした。初めての卓話であったため、不安を抱えながらの例会だったとのことですが、堂々とした発表で参加者にとって非常に勉強になる素晴らしい例会であったと感じています。小笠原地区ローターアクト代表をはじめ、友好クラブからも沢山の方に参加していただき、和やかな雰囲気卓話を進めていたのが印象的です。ローターアクトの繋がりを認識できた1日となりました。



おすすめ例会：

開催日：2月25日（日）（予定）

「献血例会」（本年度で5回目の開催）

登録の連絡先：

幹事 阪口章吾 ogurogigorugo@gmail.com

⑥ 東京江戸川ローターアクトクラブ

12月度例会「卓話例会」

一人30分の時間を設け、卓話の時間としました。各自が興味のある分野について、自由に発表する機会を設けました。合計二回の卓話をし、オリンピックの歴史とドイツ語というテーマで発表が行われました。パワーポイントで資料を作成し、文章や写真、穴埋め問題などを使い、全員が発言するタイミングをつくることで、明るい雰囲気で活動ができました。

⑦ 東京ローターアクトクラブ

11月度例会「卓話例会」

開催日：11月25日（土）

東京ロータリークラブの橋本有史様にお越しいただき、橋本様の関わられた東北の復興支援活動「東北すくすくプロジェクト」のお話と、テニス協会での活動より「日本のテニス、世界のテニス（錦織圭の作り方）」という2つのテーマで卓話をいただきました。どちらにおいても、人材を育てること、組織運営という点などで共通する課題があり、キーパーソンを見出したり、新しい体制を採用したりという柔軟な対応を求められるのだと感じました。そういった判断を下すためにはしっかりと状況を把握することが必要なのだとも理解でき、これからの活動でもそういった感覚を養っていきたいと思いました。

12月度例会

開催日：12月16日（土）

江戸千家宗家蓮華庵にて東京ローターアクトクラブの川上紹雪様から、茶の湯の道具である焼物と茶碗についてご教授いただきました。焼き物について、歴史、産地や由来、その色

形の特徴について、実際の器を幾つもと手に取らせていただきながら、長い間脈々と大事にされている器のストーリーを楽しみました。その後、ご説明いただいた茶碗を用いながらお茶会も楽しませていただき、「茶碗を通して遠い昔の人とキスをする」不思議な体験をすることができました。



おすすめ例会:

・2月度例会

日時: 2月24日(土)、14時~16時

場所 株式会社ニチレイ 船橋工場

テーマ 工場視察

・東京ローターアクトクラブ45周年記念式典

日時: 3月21日(水)、16時~20時

場所: 学士会館(神保町)

★3・2・1の日! ぜひご参加下さい!

登録先: 柏原忠和 lwayticket0114@gmail.com

⑧ 東京東江戸川ローターアクトクラブ

12月第2例会「GALAパーティー」

開催日:12月16日(土)

クリスマスGALAパーティーを開催しました。こちらはミャンマーの学校建設へのチャリティーのためのパーティーになっており、本年度の中でも大きなイベントの一つとなっています。余興に当クラブの白倉さんの三味線の演奏、東京浅草ローターアクトクラブの北部さん、第2570地区の河南さんお二方とそのご友人にご協力頂き素晴らしいダンスを披露していただきました。始まってしまうとあっという間でしたが、楽しいひと時になり、ビジターの方、他ローターアクトクラブの方々にミャンマーの現状、当クラブの活動を知ってもらい良い機会になったと思います。本年もまたこうして、大勢の方と楽しく過ごしながらローターアクトの活動をPRしつつ、社会貢献もできるイベントができれば良いなと思っております。



おすすめ例会:

1月度第2例会

専門知識委員長 藤森会員による卓話

「NPOという働き方について」

日時：1月20日（土）、19時～20時

登録料：ロータリアン 2,000円

場所：タワーホール船堀 407会議室

登録先：幹事 麻生貴裕 popporz3@hotmail.com

⑨ 東京ワセダローターアクトクラブ

12月度例会「RAサミット」

開催日：12月16日（土）

下落合第一区民センターにて、専門能力開発委員長、宮永幹也を中心として「第2回ローターアクトサミット」を開催しました。ディスカッションを行なったテーマは「1. 会員増強」「2. 会員定着」です。これは前年度の東京浅草中央ローターアクトクラブと当クラブの合同例会「第1回RAサミット」で議論したロータリアンの皆さまの6つの重点分野をローターアクトクラブの例会へと落としこむことが成功したために実施しました。当日は25名のロータリアンとローターアクターが集い4チームへ別れて、例会の質を上げ、会員一人一人が当事者意識をもち、実行に移せる例会を企画しました。各チーム今までにない独特な例会を企画し、さらに発展したクラブ例会を実施する「種」が出来たと感じました。

おすすめ例会：

開催日：1月20日（土）

内容：新年会

新年会を開催いたします！ お時間のご都合の良い皆様の参加、心よりお待ちしております。お店は、オシャレなバーになります。カクテルやウィスキー、洋酒なら殆どあります！

皆様とお会いできることを楽しみにしております！！

場所：Vitis（東京都新宿区喜久井町7 ANSビルB1F）

会費：ロータリアン：¥6,000- / ローターアクター：¥4,000- / ビジター・学生：¥2,000-

登録先：幹事 長嶺宏美 a.cheer.romi@gmail.com

⑩ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

12月第1例会「ミュージカルを見に行こう！例会」

当クラブ会員の山崎より劇団四季についての卓話が行われました。山崎会員は劇団四季の公演に何度も通うほど好きで、今回はオススメの公演や団員、チケットの取り方等など、山崎会員ならではの視点から、様々な情報について卓話をしました。卓話中は劇中の音楽も流しつつ、会場全体が劇団四季の雰囲気にとんとん染まっていきました。普段、なかなか見に行くことがない劇団四季の魅力に圧倒され、参加してくださったロータリアンやローターアクターから、「劇団四季を見に行きたくなった」とたくさんのお言葉を頂戴することができました。また、国際ロータリー第2770地区（埼玉南東）で地区ローターアクト代表を務めております、河本翠さんにもお越し頂きました。

Facebookで活動情報をお届けしています。ぜひ、「いいね！」をよろしくお願いします。

4. 青少年交換の活動（ご報告と予定）

① カウンセラー・ホストファミリー会議／派遣予定学生オリエンテーション／懇親会

12月24日（日）、学士会館（東京都千代田区）にて来日学生カウンセラー・ホストファミリー会議、派遣予定学生オリエンテーション、そして、懇親会が行われました。先ず、14時から学士会館202号室にて、ホストファミリー、ホストクラブ、ローテックス等の参加者が集まり、カウンセラー・ホストファミリー会議が行われました。吉田宏雄青少年交換委員会委員長による挨拶と1月からのプログラムの説明があり、続いて内田祐輔副委員長がホストファミリーチェンジについて説明し、「セカンドファミリー、サードファミリーが決まったら、移動する2週間前には学生に伝えて欲しい」等の注意事項を確認しました。続いて、並木正幸委員から危機管理についての話がありました。その後、加藤光ローテックス委員長が、ローテックス活動報告を行いました。ローテックスとは何かからはじまり、フィールドトリップ、ジャパンツアーなど映像を交えて大変わかりやすく解説してくれました。その後、各ホストクラブが各々3～5分で来日学生の現状等を発表しました。「ロータリークラブの植林事業に参加したりして（ロータリアンとの）交流が深まっている」「学校の友だちが出来たのは良いが、インバウンドとばかり遊んでいる」「せっかく日本に来たのだから、もっと日本の友だちを作ってほしい」「段々帰宅時間が遅くなってきているが、門限は厳守させている」等来日して約4ヶ月、日本語も上達し、少しずつ日本での生活に慣れてきた様子がかげえる報告を聞くことができました。また、「ホストファミリーが見つからないことがあり困った」という声がある一方で、「ホストファミリー会を作っている。来日時ホストファミリー全てに集まってもらっている。学生にとっては、次に行く家庭があらかじめわかって良い」「懇親会を行っている。クラブ全体で来日学生を受け入れているという意識の共有がはかれる。ホストファミリー同士の情報交換の場にもなっている」という声もあり、ホストファミリーや受け入れクラブ毎の違いや特徴がわかり、あらためて青少年交換の意義に思いを馳せる時間になったとすれば幸いです。

その後、同じ学士会館の違う部屋にて第54期派遣予定学生のオリエンテーションが行われ、吉田委員長からひとりひとりに派遣国が伝えられました。派遣予定生にとり期待と不安が交錯する緊張感が最高に高まる時間と言えましょう。各派遣予定学生の派遣国を記します。

佐久本佳奈：ベルギー、木賊凜：タイ、中川麻耶：フィンランド、水口海乃：アメリカ、南優菜：チェコ／スロバキア、三上瑛人：ドイツ、久保田京花：ブラジル、川島由楓：フランス、石田皇喜：アメリカ、橋本かれん：メキシコ（敬称略、順不同）

17時30分からは210号室に場所を移して、第54期派遣予定学生、来日学生、来賓、学校関係者、派遣予定学生のご家族、ホストファミリーが集まり懇親会が開かれました。第54期派遣予定学生一人ひとりが登壇し、吉田雅俊地区ガバナーから派遣国決定通知書が授与されました。吉田雅俊ガバナー、吉田宏雄地区青少年交換委員長と一緒に記念写真撮影の派遣予定学生たちの顔



はいずれも期待感に輝いておりました。そして、大西太一郎地区青少年奉仕委員会委員長の発声により乾杯。参加者一同和やかな歓談のひと時を過ごしました。宴もたけなわになったころ、2017-2018 年度来日学生の紹介があり、一人ひとり登壇し、日本語で簡単な挨拶をしました。続いて、第 54 期派遣学生が同じように一人ひとり登壇し、留学への意気込みを語ってくれました。その後、恒例のケーキオークション。ケーキオークションの収入は、ローテックスの活動資金になります。従って、少しでも高く落札されることが重要です。来日学生、派遣予定学生一人ひとりが自分で作ったケーキを説明しながら披露し、大変な盛り上がりの中、次々に競り落とされていきました。中締め後は、会場いっぱい広がって「手に手つないで」を参加者一同で唱和。20 時、無事お開きとなりました。



② 茶道稽古

2017-2018 年度来日学生及び第 54 期派遣予定学生を対象にした茶道稽古が以下の通り行われました。場所はいずれも裏千家東京茶道会館「今日庵」(東京都新宿区)です。

- | | | |
|-------|---------------|---------------------|
| 第 2 回 | 10 月 14 日 (土) | 来日学生 9 名、派遣予定学生 9 名 |
| 第 3 回 | 10 月 28 日 (土) | 来日学生 9 名、派遣予定学生 9 名 |
| 第 4 回 | 11 月 4 日 (土) | 来日学生 8 名、派遣予定学生 8 名 |
| 第 5 回 | 11 月 18 日 (土) | 来日学生 8 名、派遣予定学生 6 名 |
| 第 6 回 | 12 月 2 日 (土) | 来日学生 9 名、派遣予定学生 9 名 |
| 第 7 回 | 12 月 16 日 (土) | 来日学生 9 名、派遣予定学生 9 名 |

③ フィールドトリップ

ローテックス主催のフィールドトリップが以下の通り開催されました。来日学生、派遣予定学生、ローテックスが参加しました。

12 月 17 日 (日)、クリスマスパーティー
場所：サン・アンダルーサ (東京都渋谷区)

※ 例年 12 月は、クリスマスパーティーをもってフィールドトリップとしています。

④ 今後の活動予定

ジャパントアアー 3 月 25 日～4 月 2 日

来日学生、派遣予定学生がバスにて名古屋、京都、広島などを巡り、日本文化の理解を深めます。引率はローテックスが務めます。

ローターアクトクラブ例会へのお誘い

P.8~11にて、各ローターアクトクラブから「今後の活動予定」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

「青少年奉仕情報」第27号発行にあたって

遅ればせながら明けましておめでとうございます。お陰様を持ちまして上半期を無事に終えられましたこととお礼申し上げます。2018年の最初となるこの第27号は、ローターアクトを提唱していないクラブの方には是非ご一読いただきたい内容を掲載しております。提唱クラブの立ち上げ経緯から、ローターアクターとの関わり、そして提唱意義をご紹介しており、提唱することに関心を持っていただけるものとなっております。その他、インターアクト、ローターアクトの活動報告、そして青少年交換におきましては、年末に第54期派遣予定学生の派遣国発表の模様もご紹介しております。さまざまな奉仕活動がございますが、青少年奉仕は世界平和を目的とした未来への投資だと思えます。そのためにもこの情報誌が青少年奉仕活動へのヒントとなり、さらなる関心の向上に繋がることを望み、下半期も広報活動をして行く所存でございます。

みなさまにおかれましては今年も引き続き温かいご支援、ご指導をお願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員長 大西太一郎（東京紀尾井町ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp